

平成29年12月亀岡市議会定例会一般質問

亀岡市議会

平成29年12月亀岡市議会定例会 一般質問順序予定表

開催日及び開始予定時間		質問者		質問方式	
12月12日(火)	10:00～	個人	1 富谷加都子	一問一答	
	10:45～		2 奥野 正三	一問一答	
	11:30～		3 木曾 利廣	一問一答	
			休憩		
	13:15～		4 並河 愛子	一問一答	
	14:00～		5 藤本 弘	一問一答	
	14:45～		6 小川 克己	一問一答	
12月13日(水)	10:00～	個人	7 平本 英久	一問一答	
	10:45～		8 三上 泉	一問一答	
	11:30～		9 山本由美子	一問一答	
			休憩		
	13:15～		10 齊藤 一義	一問一答	
	14:00～		11 明田 昭	一問一答	
			休憩		
	15:00～		12 馬場 隆	一問一答	
15:45～	13 石野 善司	一問一答			
12月14日(木)	10:00～	個人	14 竹田 幸生	一問一答	
	10:45～		15 奥村 泰幸	一問一答	
	11:30～		16 福井 英昭	一問一答	
			休憩		
	13:15～		17 小松 康之	一問一答	
	14:00～		18 西口 純生	一問一答	
	14:45～		19 酒井安紀子	一問一答	

【注意】

質問者の日程については予定であり、議事の進行により変更する場合があります。ご了承ください。

平成29年12月亀岡市議会定例会 一般質問通告書

番号	質問者 質問日時	質問事項	質問要旨	答弁者
1	<p>富谷加都子 12月12日(火) 10:00~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 緊急時対応 整備について</p> <p>2 乳幼児外出 支援体制につ いて</p> <p>3 若者への支 援について</p>	<p>地域の高齢化が進み、今後、単身世帯や高齢世帯がますます増加すると見込まれる。高齢期を迎えても安心して生活を営める体制確保が大切である。日常生活支援のため、さらなる緊急時の体制充実を求める。</p> <p>(1) 緊急通報装置設置者の利用件数と割合は。 (2) 緊急通報装置サービスの詳細は。 (3) 利用の成果は。(救護、救急の件数) (4) 不測の事態に備える体制強化のため、年齢要件、昼間独居等対象者を拡大する考えは。 (5) 休日、夜間時の支援体制は。(代表電話後の動き) (6) 緊急時対応支援「命のカプセル」は全市民の助けになる。ホームページ等で手づくり救急医療情報キットを広報し、市を挙げて推奨してはどうか。</p> <p>市内及び市外から乳幼児を連れての方が、授乳やオムツ替えのために気軽に立ち寄ることのできる施設を「赤ちゃんの駅」として登録し、子育て世代の外出支援の拡充を求める。</p> <p>(1) 乳幼児を連れての方が来られる公共施設のうち、授乳室が確保されていない施設(地球環境子ども村や亀岡運動公園体育館等)で授乳室を拡充する考えは。 (2) 本庁の授乳室を正面案内に表示してはどうか。 (3) 既存の授乳室についても、誰が見ても分かるように、統一した本市独自の親しみのあるシンボルマークを作成してはどうか。(プレート、ステッカー、フラッグ等) (4) 乳幼児連れの方の外出を支援するために、市内の協力店舗を募集し、「赤ちゃんの駅マップ」として、子育てナビで情報発信し、子育て支援をPRしてはどうか。</p> <p>若者への支援体制強化は、本市の定住人口や労働人口を支える重要施策である。国においても、平成22年4月1日に、全ての子ども・若者が健やかに成長し、自立・活躍できる社会実現を目指し、子ども・若者育成支援推進法が施行された。若者へのサポートとして、自由に交流や学習ができるフリースペースの拡充や、若者に特化した「なんたん地域若者サポートステーション」の利用拡大を求める。</p> <p>(1) 学生の長期休業時限定で、図書館を学習スペースとして利用できないか。</p>	<p>所管部長</p> <p>市長</p> <p>所管部長</p>

			<p>(2)各自治会の施設をフリースペースに利用できないか。</p> <p>(3)「なんたん地域若者サポートステーション」の利用実態は。(利用件数)</p> <p>(4)就労に困難を有する方の家族への対応の現状は。</p> <p>(5)「なんたん地域若者サポートステーション」の課題を踏まえ、今後、力を置く点は。</p> <p>(6)地域と若者を支援する団体とのネットワーク協議会はあるのか。</p>	
2	<p>奥野 正三 12月12日(火) 10:45~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 台風被害について</p> <p>2 防災対策について</p> <p>3 敬老乗車券について</p>	<p>9月17日に日本列島に上陸した台風18号では、兵庫県や京都府に記録的短時間大雨情報が発表され、また10月22日には、超大型で非常に強い勢力をもった台風21号が上陸し、各地で大きな被害をもたらしたところである。</p> <p>(1)本市における、家屋・施設・農作物を含めた被害額は。</p> <p>(2)市としての被災者に対する今後の対応は。</p> <p>(3)京都府からの災害復旧支援はあったのか。</p> <p>(4)宮前町湯の花平の土砂崩れの現状と、今後の対応は。</p> <p>(5)宮前町神前の千々川側面の土砂崩れの対応は。</p> <p>過去には阪神・淡路大震災、東日本大震災、新潟中越地震、近年では熊本地震により甚大な被害を受けたが、今後、東南海地震も予測される中、本市の防災対策について問う。</p> <p>(1)本市が定めている指定緊急避難場所・指定避難所は何カ所あるのか。</p> <p>(2)その避難所は耐震基準を満たしているのか。</p> <p>(3)一時避難施設・避難場所は耐震基準を満たしているのか。</p> <p>(4)一時避難施設に指定されている集会所が老朽化している場合の改修・新築の補助金は。</p> <p>(5)震災時における高齢者の避難誘導について、どのように考えているか。</p> <p>75歳以上の高齢者と運転免許証の自主返納者に対して、敬老乗車券が販売されたことについて問う。</p> <p>(1)乗車券の販売対象者の人数は。</p> <p>(2)各自治会でも販売されていたが、現時点の地区別販売状況は。</p> <p>(3)販売から2カ月が経過したが、当初の見込みと比べてどうであったのか。</p> <p>(4)来年度以降の販売は未定と聞いているが、なぜか。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>

		4 亀岡まるごとガーデン・ミュージアム構想について	<p>花と緑のまちづくり事業の一環と思われる工事が、市役所別館横、亀岡インター出入口付近等で行われていることについて問う。</p> <p>(1) この工事は花と緑のまちづくり事業なのか。</p> <p>(2) この事業は単年度事業なのか。</p> <p>(3) 今後、工事を予定している場所は。</p> <p>(4) 工事完了後の維持管理は。</p>	市長 所管部長
3	<p>木曾 利廣 12月12日(火) 11:30~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 河川事業について</p> <p>2 京都スタジアム(仮称)建設について</p> <p>3 文化センター・児童館の利用について</p>	<p>9月定例会での質問以降に進捗した京都府治水対策について、亀岡地域の平成29年度の桂川治水対策事業(桂川本川及び支川)の内容を問う。</p> <p>(1) 平成29年度の京都府の桂川治水対策で、大井町から要望があった本堤防の強靱化の取組みについて調査が進んでいると聞くが、内容は。</p> <p>(2) 桂川本川の治水対策で堆積土砂の採取が一部区間で決定したとあるが、いつの時期に報告されていつの時期に撤去されるのか。</p> <p>(3) 桂川・支川内に堆積している土砂の撤去は、一部府民公募で採択されたと聞くが、具体的な内容は。</p> <p>(4) 山本浜に設置されている防災用河川監視カメラのより使いやすい手法について再々要望しているが、いつの時期に改善されるのか。</p> <p>(5) 先日発表された、京都府が策定する桂川上流圏域河川整備計画(原案)について内容を尋ねる。</p> <p>京都スタジアム(仮称)の建設の入札が終わり、実施計画に基づき来年の年明けから建設工事が始まると聞くが、建設中の車両の経路や、残された課題について問う。</p> <p>(1) 京都スタジアム(仮称)の建設に関わる工事車両経路及び安全対策について、関係自治会の理解は得られているのか。</p> <p>(2) 騒音対策・景観対策、交通渋滞緩和策について、関係する近隣住民に対する説明会を行うとしていたが、いつ実施したのか。</p> <p>(3) スタジアム完成後の残された課題とされる交通シミュレーション及び環境調査はどのようにしているのか。</p> <p>(4) 工事期間中における越冬中のアユモドキの保全について尋ねる。</p> <p>平成29年9月定例会で隣保館のあり方について質問したところであるが、その後の人権福祉センターの運営と、現在設定されている使用料の見直しについて問う。</p> <p>(1) 人権福祉センターの運営で、NPO法人を含む関係者との対応について尋ねる。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>

		<p>4 学校規模適正化問題について</p> <p>5 篠町西山区の要望の市道認定及び信号設置について</p> <p>6 ふるさと納税について</p> <p>7 観光事業について</p>	<p>(2)新築された人権福祉センター及び新しく改築された各文化センターの使用料の見直しについて尋ねる。</p> <p>(3)子ども食堂での食物アレルギー対策・指導について尋ねる。</p> <p>現在、学校規模適正化の取組みが市内各地で教育委員会の主導により進められているが、該当する地域での説明会について不満が出ている。教育委員会の基本的な考えを整理して、再度当該地域に理解を求める考えについて問う。</p> <p>(1)一方的な(地域によっては)通学変更ありきではなく、期間を決めず、まずは実施する必要性を説明して、それぞれの地域事情や学校の考え方など、今までの経過を理解した上で最善策を提言すべきと考えるが、教育委員会の考えは。</p> <p>長年の要望である生活道路の市道認定と、国道9号に接合する場所への信号設置について問う。</p> <p>(1)生活道路の市道認定について、本市の現在の考えは。</p> <p>(2)信号機設置について、京都府、公安委員会及び国土交通省との協議の進捗内容は。</p> <p>桂川市長肝いりの、ふるさと納税による税収確保は、市政推進にとって重要な内容になっている。安全・安心のまちづくりの一環として、防災対策のための事業にもふるさと納税を利用してはどうかと考える。</p> <p>(1)超高齢化が進行する中、市民の安全を確保するために、また地域コミュニティを推進するためにも、一時避難所及び広域避難所の整備のための基金を創設する考えは。</p> <p>亀岡市内観光を推進するための施策について問う。</p> <p>(1)亀岡市内の観光地を楽しむ多くの観光客のために、国道以外の市道・府道の主な信号機に地名表示をしてはどうか。</p>	<p>市長 教育長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>
4	<p>並河 愛子 12月12日(火) 13:15~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 市長の政治姿勢について</p>	<p>安倍首相は、一貫して憲法9条の改正を掲げている。11月14日の毎日新聞の世論調査では、改憲発議を「急ぐ必要はない」が66%となっており、国民世論として、二度と戦争をしないと誓った憲法9条を守れとの声は強い。</p> <p>(1)憲法9条に対する所見は。</p> <p>(2)世界連邦・非核平和都市宣言をしている本市として、憲法改正に反対の意思を示すべきと思うがどうか。</p>	<p>市長 所管部長</p>

		<p>2 暮らしの資金貸付について</p>	<p>長引く不況で貧困と格差が拡大し、市民の暮らしは大変になってきている。こうした時こそ、市民の暮らしを応援する施策の充実が求められる。</p> <p>(1) 暮らしの資金の貸付について、今年も夏季と冬季の2回実施され、利用者に大変喜ばれている。過去3年間の実績は。</p> <p>(2) 年2回の貸付となっているが、必要な時に利用できるように通年化の要望は強い。通年化の考えはどうか。</p>	<p>市長 所管部長</p>
		<p>3 国民健康保険事業について</p>	<p>国民健康保険は、歴史的にも法的（国民健康保険法）にも「社会保障及び国民保健の向上に寄与することを目的とする」と明記された社会保障制度である。現在、滞納世帯に短期証が発行されているが、期限が切れて更新に来られない世帯について、市役所での留め置きも発生している状況だが、国民健康保険一部負担金の減免について問う。</p> <p>(1) 医療を受ければ一部負担が発生する。一部負担金の減免について、亀岡市国民健康保険条例施行規則及び取扱要綱で基準を定めているが、具体的な内容は。</p> <p>(2) 一部負担金の減免の実績は。</p> <p>(3) 昨年3月、厚生労働省が一部負担金減免の実施を求める通知を出しているが、本市の扱いはどうか。</p> <p>(4) 今後、一部負担金の減免制度を受けやすいように改善すべきだと考えるがどうか。</p>	<p>市長 所管部長</p>
		<p>4 子どもの医療費無料化について</p>	<p>少子高齢化は本市においても例外ではなく、子育て支援にさらなる努力が求められる。子どもの医療費無料化について問う。</p> <p>(1) 9月から多子世帯の子どもの医療費が無料になった。実績はどうか。</p> <p>(2) 多子世帯だけでなく全ての子どもの医療費を、せめて小学校卒業までは無料化してほしいとの市民要望は強い。実施すべきと思うがどうか。</p> <p>(3) 財政的負担はどのくらいと試算しているのか。</p>	<p>市長 所管部長</p>
		<p>5 道路の改修について</p>	<p>並河駅地下道は、生活道路として多くの住民が利用している。新設された時点では不自由を感じなかった人も、高齢化が進み、改善の要望が出されている状況だが、並河駅地下道のバリアフリー化について問う。</p> <p>(1) 現状をどのように把握しているのか。</p> <p>(2) 手押し車を使用して通行している人への対策が必要と思うがどうか。</p>	<p>市長 所管部長</p>

5	<p>藤本 弘 12月12日(火) 14:00~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 ふるさと納税の充実で、さらなる豊かなまちづくりについて</p> <p>2 路上喫煙禁止条例・受動喫煙防止条例等の制定について</p>	<p>1 1月22日付けの新聞報道では、本市のふるさと納税は「13日時点で1億545万円(2558件)が集まっている。過去最高だった昨年度の1億7386万円を上回る勢い」と紹介されている。</p> <p>(1)現時点での申込件数と金額はどのようになっているのか。</p> <p>(2)今年度中の申込金額の見込みは。</p> <p>(3)当初、インターネットの受付窓口は楽天と高島屋であったが、本年度からJTB西日本とさとふるを加えた。高島屋は8月末で契約を終了したが、それぞれの申込金額と占める割合はどのようになっているのか。</p> <p>(4)昨年は返礼品の亀岡牛に人気が集中し、品不足になったと聞いたが、今年は返礼品の供給体制等の改善は行ったのか。また、その体制は万全か。</p> <p>(5)聞くところによると、楽天の返礼品の注文で手一杯であり、新規のJTB西日本やさとふると契約を結んでいない生産者もあるとのことである。どちらも力のある窓口であり、まだまだ伸びる可能性があるが、その点はどのように考えるか。</p> <p>(6)ふるさと納税のランキング上位の自治体を見てみると、返礼品の充実はもとより、ネットでの広告・宣伝にお金をかけ、工夫を凝らしている。本市の今後の取組みについての考え方は。</p> <p>本市において、明後年にはJR亀岡駅北に京都スタジアム(仮称)が完成する。そうすれば、多くの人々が本市を訪れることになる。</p> <p>(1)マナーの一つのルールとして、路上喫煙禁止条例又は受動喫煙防止条例等を制定しておく必要があると思うが、その考えはあるのか。</p> <p>(2)京都市や千葉市、横浜市、相模原市、神戸市等、他市の取組みを見てみると、看板の掲示だけでなく、「路上喫煙禁止区域」等のロゴマークやキャラクターを使っての路面標示がされている。本市も、JR亀岡駅北や京都スタジアム(仮称)周辺、駅南側も含め、ロゴマークやかめまるを使った路面標示を実施する考えはあるか。</p> <p>(3)本市においては、平成23年度から受動喫煙防止に取組み、市内221カ所の禁煙を進める公共施設や飲食店等に認定証を授与し、敷地内全面禁煙のところは金のステッカー、施設内禁煙のところは銀のステッカーを配付しているが、あまり見かけない。本市のキャラクターの明智かめまる等を活用し、もう少しモダンな、格好いいステッカーを考えてはどうかと思うが、その考えはあるか。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>
---	---	---	---	---------------------------------------

		<p>3 所有者不明の土地の対策について</p>	<p>(4)京都市等では喫煙者に対しても配慮されている。京都駅周辺6カ所には、空港や新幹線待合所等に設置されているような喫煙場所や喫煙ルームが設置されており、清水坂、高台寺公園、JR山科駅、JR桂川駅等にも同様のものが設置してある。東京都内においても同様である。本市においても、JR亀岡駅北や南側、京都スタジアム(仮称)近くに喫煙ルーム等の施設を設ける考えはあるか。</p> <p>法務省はこの6月、所有者が不明の土地に関する実態調査を発表した。民間有識者の推計では、全国でこのような土地が410万ヘクタール(九州全土の広さを超える面積)存在し、公共事業等にも支障を来しているとしている。今後、このまま相続手続がされず放置されれば、相続人が子から孫、ひ孫へとねずみ算式に拡大し、大きな問題になると警鐘を鳴らしている。</p> <p>(1)本市において、このような所有者不明の土地については、どの課が担当し、苦情はどこへ言えばよいのか。</p> <p>(2)このような所有者不明の土地や山林は、本市にはどのくらい存在するのか。実態は。</p> <p>(3)畑野町在住の人から、「近所の住宅地が空き地となり、草木が生い茂って困っている」と相談があった。市役所へ相談に行かれたら「都市計画区域に入っていないので、環境美化条例や空き地の雑草等の除去に関する要綱の適用範囲外だ」と言われたとのことである。地権者は亡くなっているにもかかわらず、遺産相続もされていない。このような場合、どうすればよいのか。</p> <p>(4)本市には、畑野町以外に、このような地域はどのくらいあるのか。また、今後の対応をどのように考えているのか。</p>	<p>市長 所管部長</p>
		<p>4 国道9号のダブルルートとして亀岡新丸太町線のトンネル化早期整備実現について</p>	<p>現在、国道9号のダブルルート化・バイパス化として3つのルートが検討されている。1つ目は保津大橋を渡った保津町から新丸太町通へトンネルでつなぐルート、2つ目は宮前千歳線から亀岡園部線を越え、新丸太町通へトンネルで抜けるルート、3つ目は京都縦貫自動車道・大原野インター付近からトンネルで篠町・亀岡方面へ抜けるルートである。</p> <p>(1)本市の今後の発展を考え、優先順位についての市長の考えは。</p> <p>(2)大原野から亀岡へトンネルを抜いた場合、避難道路としては大変便利になるが、本市から桂川のイオンモールへ多くの買い物客が流れ、市内の大型スーパー・大型小売店は大きな痛手を負う。本市の経済にとって大きなマイナスになるという経済界からの意見もあるが、市長の考えは。</p>	<p>市長 所管部長</p>

			(3) 3つのルートの中では、本市の避難道路として、さらには今後、京都スタジアム(仮称)ができ、国道9号の渋滞緩和やホテル誘致、観光も含めた経済効果を考えた場合、保津町から新丸太町通へ抜ける亀岡新丸太町線のトンネル化整備が必要と考えるが、市長の考えは。	
6	小川 克己 12月12日(火) 14:45~ ※一問一答	1 サイエンスフェスタについて 2 ガレリアかめおかについて 3 国道9号に係る歩道整備について 4 桂川右岸道路の整備について 5 民生委員について	<p>去る11月23日ガレリアかめおかにおいて産官学が一体となって「地域ふれあいサイエンスフェスタ2017」が盛大に開催された。</p> <p>(1) 成果と課題はどのようなものであったか。</p> <p>(2) 今後拡充できる取組みは。</p> <p>ガレリアかめおかは、生涯学習施設・道の駅として、市民のみならず多くの利用がある。</p> <p>(1) 中長期的に修繕が必要なところはないのか。</p> <p>(2) 施設の駐車場が満車の時がある。駐車できずに利用を断念するケースもあるのではないかと。改善策は考えているのか。</p> <p>(3) 地下駐車場から一斉に出庫されると渋滞が発生する。あらかじめ予測される時は、西出口を出庫専用開放できないのか。</p> <p>国道9号の千々川橋から千代川駅前交差点までの区間の西側の歩道整備については、痛ましい死亡事故の後、現地確認等の素早い対応をしていただいた。</p> <p>(1) 今後早期整備に向けて市としての所見は。</p> <p>亀岡市都市マスタープランの構想路線でもある千代川町川関から大井町を経て宇津根橋に至るまでの市道を整備することにより、国道9号の渋滞緩和や沿線住民の交通の利便性向上につながる。また、堤防を強化することにより減災につながる。桂川右岸道路の整備について問う。</p> <p>(1) 桂川右岸道路整備促進協議会からの要望後の市としての取組みは。</p> <p>(2) 今後の計画の見通しは。</p> <p>本年は民生委員制度が創設されて100周年という記念すべき年であると聞いている。この間、社会の姿は時代とともに大きく変化し、生活課題はさまざまに変化し、また多種多様化しており、委員の活動の負担も重くなってきているにもかかわらず、常に地域に寄り添い課題を解決するための活動に取り組まれている。</p> <p>(1) 民生委員の地域配分はどのような割合か。</p> <p>(2) 地域の実情に合わせた見直しは可能なのか。</p> <p>(3) 委員が円滑に活動できるよう、担当部署からの情報提供・共有はできているのか。</p>	<p>教育長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>

			(4) 委員の負担軽減をするには、どのような連携や方策があると考えているのか。	
7	平本 英久 12月13日(水) 10:00~ ※一問一答	1 有害鳥獣被害対策について	本市における有害鳥獣による農作物への被害状況と対策について問う。 (1) 有害鳥獣による農作物への被害状況は、現在どのように推移しているのか。 (2) 法改正を受けて、有害鳥獣の駆除を担う猟友会の人材確保は進んでいるのか。 (3) 実験的に宮前町で設置されているAIゲートを含め、有害鳥獣の捕獲や駆除に向けての新たな取組みやシステム導入の計画はあるのか。 (4) 有害鳥獣の有効活用として、ジビエ等の研究はその後進んでいるのか。	市長 所管部長
		2 農業用ため池の防災対策について	篠町地区内の農業用ため池の防災対策としての耐震化事業計画について問う。 (1) 汁沢池については、漏水の問題があり詳細な調査を行うと聞いているが、進捗はどうか。 (2) 汁沢池の調査計画に基づき、事業計画はどのように進むのか。 (3) 寒谷東池は底樋に支障があるとされているが、耐震化事業の進捗はどうなっているのか。 (4) 本耐震化事業についての地元負担の見通しはどうか。	市長 所管部長
		3 牧田川の河川改修について	篠町牧田川の第2事業区間740メートル間の河川改修事業の計画について問う。 (1) 牧田川第2事業区間の河川改修についての進捗はどうか。 (2) 牧田川流域の関係者や地元との協議・説明は行っているのか。 (3) 今後の牧田川改修事業の完成の見通しはどうか。	市長 所管部長
		4 弾道ミサイル等武力攻撃の備えについて	連日マスコミ報道されている度重なる北朝鮮の弾道ミサイル発射は我が国において大きな脅威である。市民の生命を守り安全を確保するための本市の取組みについて問う。 (1) 自治体として、平時から弾道ミサイル等武力攻撃に備えての体制整備をどう図っているのか。 (2) 武力攻撃等、有事の際の避難計画について、市民に対して周知啓発は行っているのか。 (3) 武力攻撃に至った場合、Jアラート等の警報発令後の市民への避難誘導はどのように行うのか。 (4) 弾道ミサイルやテロ等の武力攻撃を想定した市民を対象とする避難訓練を実施する計画は。	所管部長

		<p>5 本市における人口減少対策について</p> <p>6 子育て環境のさらなる整備について</p>	<p>近年の本市における人口減少の現状と、今後の対策について問う。</p> <p>(1) 昨年度からの人口の増減はどうなっているのか。</p> <p>(2) 年代別でどのように推移しているのか。</p> <p>(3) 移住・定住促進への取組みに向けて、転出入の届出時に、アンケート等で理由を把握する方法は確立できたのか。</p> <p>子育て世代が安心して働くことができる環境整備の拡充について問う。</p> <p>(1) 現在も求められている保育士の人材確保は急務であるが、現状はどうか。</p> <p>(2) 今後どのように人材確保に取り組むのか。</p> <p>(3) 次世代育成支援対策推進法に基づいて、本市における子育てサポート企業としての認定はどのようになっているのか。</p> <p>(4) 今後、本市におけるワーク・ライフ・バランス確立に向けて、企業との連携についてどう考えているのか。</p> <p>(5) 本市におけるサポート企業の認定に向けて、どのように啓発し推進していくのか。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>
8	<p>三上 泉 12月13日(水) 10:45~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 地域振興と観光政策について</p>	<p>政府が進める地方創生の名による選択と集中の成長戦略は、雇用対策や中小企業支援策、また、持続可能な地域づくりや地域の良さを生かした循環型の景気対策に結びつかず、地方・地域が疲弊している例が全国各地で見られる。地方創生推進交付金を獲得するために観光やイベント偏重の取組みを推進しても、地元企業・業者は活躍できないということも多い。</p> <p>京都府でも、昨年の森の京都博において、事業費として約1億3千万円支出されたが、地元発注はわずか12万9600円だったことが明らかになった。地元住民からも「イベントに駆り出されるばかりで、仕事にならない」等の不満の声が出された。今年3月には一般社団法人森の京都地域振興社、いわゆる森の京都DMOが設立された。これらの取組みと地域振興への効果について問う。</p> <p>(1) 森の京都博において、市内業者への発注はあったのか。</p> <p>(2) 森の京都博における本市の経済効果はどうであったか。</p> <p>(3) 森の京都DMOの活動で、地元業者はどの程度活躍できているのか。</p> <p>(4) 森の京都DMOが発行している宣伝物等は地元業者に発注されているのか。</p> <p>(5) 6月定例会で、全国の成功例をもとに、観光戦略として官民あらゆる事業者が知恵を出し合い情報を一元化するプラットフォームをつくるよう提案した際に、観光・交通事業者、農業団体などが参画する「森の京都DMO会議」が立上げられる予定との答弁があ</p>	<p>市長 所管部長</p>

		<p>2 学校教育の条件整備に係る長期的な見通しについて</p>	<p>ったが、その後どうなったか。</p> <p>市内観光ツアーの一つとして、先月16日から、ヘリコプターによる保津峡周遊ツアー「亀岡・保津峡天空の旅」がスタートしたが、飛行回数が多く、近隣住民からは騒音に対する困惑や不安、怒りの声もあがっている。</p> <p>(6) 京都府と亀岡市農業委員会が、このツアーの仮設ヘリポート地について、農地の臨時的転用の許可を出しているが、騒音による周辺地元住民への影響等は許可の要件になっているのか。</p> <p>(7) この場所にある、シーズンオフとなったラフティング業者の建造物を借用しているようだが、そもそも市街化調整区域の農地へのこれらの建造物設置に問題はないのか。</p> <p>(8) 地元住民等への説明はきちんとされていたのか。</p> <p>(9) 来年以降も営業希望があれば、市はどのように対応するつもりか。</p> <p>市民からの長きにわたる強い要望も踏まえて、教室へのエアコン設置、中学校給食への試行的措置開始など、ようやく足を踏み出し始めたが、他の自治体と比べて、学校教育の条件整備ではいくつか後れをとっている。また、学校規模適正化の取組みは、保護者や地域など市民からの疑問や反対の声が多く、市が描いたスケジュール通りにはいかなくなっている。これらの教育諸条件整備について、長期的な見通しを問う。</p> <p>(1) 学校における図書館司書の配置の現状は。</p> <p>(2) 他の自治体と比べて、現状をどう考えているのか。</p> <p>(3) 今後の図書館司書配置の計画・見通しは。</p> <p>(4) この10月から始まった中学校での選択制のデリバリー弁当提供の試行は、当面の施策と考える。学校給食の法的理念を踏まえた、学校給食の本来のあり方をどう考えるのか。</p> <p>(5) 本格的な中学校給食も視野に入れて、現在の給食センターが施設・設備の老朽化による刷新の時期を迎えた時、どのような方向性を考えているのか。</p> <p>学校規模適正化基本方針に基づく施策の推進については大きな見直しが必要であると考え。</p> <p>(6) 短期的取組みとして論議されている別院中ブロック、東輝・詳徳中ブロックの計画も、保護者・住民の反対の声が根強く、大きく遅れる見込みであるが、それでも、中期、後期と取組みを続けるつもりか。</p> <p>(7) 全国で、学校統廃合後に「こんなはずではなかった」という住民の思いが広がっている。先行して実施した自治体の取組みを検証すべきだが、そのような検証を行っているのか。</p>	<p>市長 教育長 所管部長</p>
--	--	----------------------------------	---	----------------------------

			<p>(8)複式学級が教育上問題であるような見地から課題を設定しているが、学術的には全く根拠のない論理であり、小規模校の良さを生かした教育を地域に根差して進めることで地域の活性化につながるという全国各地の経験からも、基本方針を見直す必要があると考えないのか。</p> <p>(9)学校の新設・存続を、例えば高齢者のための施設との併用等と合わせて考える時期ではないか。</p>	
9	<p>山本由美子 12月13日(水) 11:30~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 国保の保険者努力支援制度について</p> <p>2 防災対策について</p>	<p>平成27年5月に持続可能な医療保険制度を構築するための国民健康保険法等の一部を改正する法律が成立し、重症化予防の取り組みを含めた医療適正化等に係る都道府県や市町村国保の取り組みを評価・支援するため「保険者努力支援制度」が創設された。</p> <p>(1)保険者努力支援制度による、平成28年度の国からの交付額は。</p> <p>(2)特定健診の受診率、特定保健指導の実施率向上に向けた取り組みは。</p> <p>(3)前立腺がん検診は特定健診と同時受診することができるが、広報の取り組みは。また、今後特定健診の項目に入れる考えは。(55歳以上の男性)</p> <p>(4)健康ポイント制度を導入する考えは。</p> <p>(5)糖尿病等の重症化予防の取り組みと効果は。</p> <p>(6)健康・医療情報を活用して亀岡市国民健康保険データヘルス計画(保健事業の実施計画)を平成27年度に策定されたが、これまでの実施状況を踏まえ、平成30年度の第2期のデータヘルス計画策定に向け、どう生かしていくのか。</p> <p>平成7年の阪神・淡路大震災や平成23年の東日本大震災、さらには本年7月の九州北部豪雨等、我が国では、これまでから地震、津波、台風等による風水害等が多く発生している。このような経験から、国をはじめ各自治体では防災・減災対策に対する意識が高まり、各地でその対策や防災訓練などが講じられている。</p> <p>(1)災害対応型自動販売機の設置状況と拡充の考えは。</p> <p>(2)災害時に避難所や病院等において、お湯等の飲料を提供できる災害対応型紙カップ式自販機の設置及び災害協定の締結を検討する考えは。</p> <p>(3)Wi-Fi設備の整備されていない公共施設等へのWi-Fi機能付き自動販売機の設置は利用者、避難者の利便性向上に役立つと考えるが、設置の考えは。</p> <p>(4)平成29年台風21号の強風の影響で倒木による被害が多かった。倒木被害防止のた</p>	<p>所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>

		<p>3 LLブックの導入について</p> <p>4 小規模特認校制度における中学校選択について</p>	<p>め、開発公園の木の伐採について相談を受けた。伐採経費も亀岡市開発公園整備事業補助金の対象とする考えはないか。</p> <p>文部科学省は昨年、全国の教育委員会に通知した「学校図書館ガイドライン」の中で、学校図書館へのLLブック（絵や写真、ピクトグラムと呼ばれる絵文字を多く使ってわかりやすく書かれている本）の配備を推奨している。</p> <p>(1) やさしく読みやすい本LLブックの学校図書館への配備が推奨されているが、市内の各小・中学校への周知は。</p> <p>(2) LLブックを特別支援学級や学校図書館に導入する考えは。（現状を含め見解を）</p> <p>(3) 市内各図書館におけるLLブックの蔵書状況と今後の展望は。（普及に向けての取組みなどを含む）</p> <p>(4) 市内各図書館において、LLブックのコーナーを設置する考えは。</p> <p>平成29年度から東別院小学校、西別院小学校の2校が、小規模特認校としてスタートし、約8カ月が経過した。現在、平成30年度の募集受付中であるが、両小学校の募集要項において中学校の進学については「住所地の中学校のほか、希望すれば小規模特認校の児童が進学する中学校への進学を選ぶこともできます」とある。</p> <p>(1) 就学指定校変更の手続きにより、小規模特認校の児童が進学する中学校へ入学が可能になるということだが、通学についての考え方は。</p> <p>(2) 小規模特認校の児童が進学する中学校への入学を選択した時の通学方法について、保護者には説明されていたのか。（小規模特認校への転入にあたっての面談や説明会において）</p> <p>(3) 現在、西別院小学校の児童が市役所前からスクールバスを利用して通学しているが、そのバスを利用するなど柔軟な対応はできないか。</p> <p>(4) 市として、考えられる通学方法は。（公共交通、中学校のスクールバスの利用など）</p>	<p>教育長 所管部長</p> <p>市長 教育長 所管部長</p>
10	<p>齊藤 一義 12月13日(水) 13:15～</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 都市計画用途地域指定の変更について</p>	<p>本市都市計画平面図の用途地域指定図を見ると、国道9号沿いにもかかわらず、ぽっかりと中抜きで空いた不自然な市街化調整区域がある。</p> <p>(1) 国道9号沿いの篠町浄法寺地域の調整区域を不自然と思わないか。</p> <p>市は開発許可の権限移譲を受ける際の効果として、第4次亀岡市総合計画や都市計画マスタープラン等、本市が目指すまちづくりを総合的に推進していくことができるとしていた。</p> <p>(2) 目指すまちづくりとして、市街化区域編入</p>	<p>市長 所管部長</p>

		<p>を権限者である京都府と協議してはどうか。 過日の成人式実行委員会と議会とのわがまちトークで、若者が集える店舗の誘致希望が多くあった。また、ほとんどの地権者の合意があり、明日にでも編入できるような状態であり、障害は行政の許認可のみである。早期に手を打たないと耕作放棄地ばかりの景観になる。 (3) 早急に市街化区域に編入すべきと考えるがどうか。</p>	<p>桂川市政になり、ふるさと納税の額は右肩上がりである。今年度は2億円を超える勢いであるが、まだまだ伸び代はあると思われる。そこで「おまけ付き」で納税額2万倍と成功した天童市を参考にしてはと考える。 (1) ネーム入りの明智かめまるストラップのおまけを付けてはどうか。 (2) 治山・治水対策や森林保全のため、間伐材で作製したコップに好みの文字を入れるおまけを付けてはどうか。</p>	<p>所管部長</p>
		<p>2 ふるさと納税増額について</p>	<p>子ども子育てといえは本市の定住促進、「選ばれるまち、住み続けたいまち」のため、大変重要な施策である。親にとって本市の出生届窓口は非常に大切な記念すべき一生の思い出の場であり、子育ての一丁目一番地だが、市民からは残念な悲しい声を聞く。 (1) 受付窓口で「おめでとうございます」の声かけは当然行っていると思うがどうか。 出産後にお宮参りをされるが、市内のことをあまり知らない移住者もあると思われる。 (2) 出生届窓口にて、市内の神社をパンフレット等で紹介してはどうか。</p>	<p>所管部長</p>
		<p>3 子ども子育て支援について</p>	<p>本市では教育振興基本計画を策定し、めざす子ども像「ほっかほか心 ふるさと大好き かめおかつ子」の下、ふるさとを愛する心の育成を重点目標にしているが、教育現場では社会教育を十二分に行うまでは手が回らないのが現状と思われる。 (1) 亀岡市エコミュージアムを立上げ、教育現場の隙間を埋め、作業の軽減と本市の歴史・文化の継承につなげてはどうか。 亀岡市民憲章の一文には「歴史と伝統を生かし、先人の知恵が香る文化のまちをつくります」とある。また、本市の観光客に歴史・文化を一元化して発信できる基地としてのエコミュージアムには、その道に特化した人材が本市には多くおられると思われる。 (2) 教育研究所にエコミュージアムを創設し、本市の魅力発信や定住人口・交流人口増を図ってはどうか。</p>	<p>市長 所管部長</p>
		<p>4 本市の歴史と文化の継承について</p>		

		5 学校統廃合について	<p>東・西別院町では小・中学校統廃合問題において、特認校制度や移住促進に懸命に取り組む努力されているが、教育委員会からは統廃合ありきの話しか来ないとのことである。</p> <p>(1)今年度、統廃合についての保護者説明会は、小学校と中学校でそれぞれ何回行ったのか。</p> <p>(2)近々の学校規模適正化の会議では、今後のどのような方針が話し合われているのか。</p> <p>(3)地域の当事者が委員に入っていないからこそ丁寧に説明願いたいと考えるがどうか。</p>	市長 所管部長
11	<p>明田 昭 12月13日(水) 14:00~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 移住・定住促進について</p> <p>2 職員採用について</p>	<p>「選ばれるまち、住み続けたいまち」を目指し、新たな亀岡市づくりにチャレンジして2年が経過した。多くの施策の中で、人口減少対策は一つの中心をなす施策である。全国的な傾向である急速な少子高齢化に伴う人口減少は、避けようのない事態となっている。亀岡市の人口目標は、15万人から12万5千人となり、現在は10万人である。現在の人口は9万人を切って8万9千人台であり、住み続けたいまちとしての評価点が低いのではないかと考える。</p> <p>しかし、一方で亀岡市には、京都縦貫自動車道の全線開通や、京都スタジアム(仮称)の建設等、人口増加やにぎわい創出のチャンスが到来している。この機会を最大限に活用する施策を行うべきと考える。</p> <p>(1)亀岡市の移住・定住とはどのように定義するのか。</p> <p>(2)移住促進特別区域とはどのような区域なのか。</p> <p>(3)現在の指定区域はどこか。</p> <p>(4)今後、指定区域の予定はあるのか。</p> <p>(5)今年度の転入、転出の推移は。</p> <p>(6)南丹広域振興局、南丹市、京丹波町と連携して移住についての取組みを実施するようだが、その内容は。</p> <p>(7)京都府宅地建物取引業協会及び全日本不動産協会京都府本部と協力協定を締結しているが、市との役割分担などはどのようになっているのか。</p> <p>(8)古民家利活用による施設整備の状況は。</p> <p>(9)婚活支援実施の成果は。</p> <p>(10)亀岡市内で婚活の活動をされている団体はあるのか。</p> <p>ここ数年、戦後最も長い経済成長が続いていることがマスコミ等で報道されている。また、景気のゆるやかな回復を背景に、製造業を中心に幅広い産業で求人が増えているようである。総務省が発表した労働力調査によると、10月の完全失業率は2.8%であり、5カ月連続で同水準である。求人倍率は、9月まで3カ月連</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>

		<p>3 新火葬場について</p> <p>4 ドローン導入について</p> <p>5 亀岡祭について</p>	<p>続で1.52倍が続いていたが、10月はバブル期の水準を超える1.55倍であったと厚生労働省が発表している。このような状況下では、公務員が敬遠され、職を求めて民間企業へとシフトすることは、バブル期に経験したところである。定員管理適正化計画の運用管理はもちろんだが、前市政時からマンパワー不足が叫ばれており、職員の質の低下を招くような事態は避けなければならない。このような観点から、職員数の適正管理について質問する。</p> <p>(1) 現職員数は。また、適正化目標との比較は。</p> <p>(2) 採用計画は。</p> <p>(3) 職員の居住地について、市内と市外の比率は。</p> <p>(4) 受験者の中で、できるだけ市内出身者を優先して採用すべきと考えるがどうか。</p> <p>亀岡市新火葬場整備検討審議会が桂川市長の熱意と誠意ある対応により、今年の3月28日ようやく開催された。既に4回開催されているが、審議会の内容や今後の課題、方向性について質問する。</p> <p>(1) 第2回目の議事録を見ると、欠席委員が半数近いが、どのような経過なのか。</p> <p>(2) 現行の火葬能力と火葬需要の見通しは。</p> <p>(3) 亀岡市新火葬場整備検討審議会では具体的な候補地は出ていないが、既に予定地周辺に住む方からは反対の声を聞く。現火葬場であれば、周辺にはたくさんの土地があり、火葬場までのアクセス道路整備にもそれほど多くの費用はかからないと思うがどうか。</p> <p>今年の3月定例会でも質問したが、その後、情報を収集し、導入機種の選定が終わり、導入の運びとなった。</p> <p>(1) 選定の基準は。</p> <p>(2) 安全性の確保はどのように考えているか。</p> <p>(3) 活用実績は。</p> <p>今年の亀岡祭（鍬山神社秋季大祭）は10月20日から25日までの述べ6日間にわたって行われ、多くの見物客でにぎわいを見せた。</p> <p>(1) 雨の降る中、たくさんの人が見物されていたが、人出は何人か。</p> <p>(2) 雨の中でもあれだけの人を集めることができる祭りを、今後のにぎわい創出のチャンスにするよい考えや知恵はあるのか。</p> <p>(3) 鉾町に11基の山や鉾が建つが、にぎわいにばらつきが見受けられる。職員の知恵で工夫できないか。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>所管部長</p> <p>所管部長</p>
--	--	--	--	--

		<p>6 主要地方道整備について</p> <p>7 道路改修について</p> <p>8 府の管理河川について</p> <p>9 駅南地区のにぎわいについて</p> <p>10 亀岡会館について</p>	<p>主要地方道亀岡園部線の亀岡市域における整備は、保津北工区及び保津南工区が完成し、相次いで供用開始された。本路線は、国道9号の古世口交差点を起点とし、南丹市園部町に至る幹線道路として、地域経済の発展や沿線住民の生活を支える重要な役割を有している。亀岡市域の未着工工区について、引続き京都府への要望が必要である。従来から最重要課題となっている密集市街化区間について問う。</p> <p>(1) 国道9号古世口交差点から春日坂交差点までの事業着工の具体的な予定や日程は。</p> <p>城下町地区の舗装改修について、亀岡地区中部の地域こん談会でリニューアルの要望が出されていた。特に激しい傷みの路線が本町通りの他に2路線ほどあると思うが、改修の予定を問う。</p> <p>(1) 平成29年度の舗装の改修予定は。</p> <p>(1) 雑水川緑橋上流の改修工事の内容は。また、工事はいつまでかかるのか。</p> <p>(2) 南郷池の浚渫の計画は。</p> <p>京都スタジアム（仮称）の建設業者が決まり、目を見張る立派なスタジアムの完成が待たれる。片や、駅南の城下町地区は、変化の波に飲み込まれないよう対応することが求められる。</p> <p>(1) 関係者が一堂に会し、検討会が立ち上がったのか。また、そこに参加している団体は。</p> <p>(2) どのような目的と考えているのか。</p> <p>(3) 北町にある「楽々荘」に、工事中らしき動きが見かけられるが、何か動きがあるのか。</p> <p>平成29年度当初予算に亀岡会館の除却費用が計上されていた。その後の経過について問う。</p> <p>(1) 除却の方法は決定したのか。</p> <p>(2) 工期の予定は。</p> <p>(3) 除却後については工事中に考えると聞いているが、進捗しているのか。</p>	<p>所管部長</p> <p>所管部長</p> <p>所管部長</p> <p>所管部長</p> <p>所管部長</p>
12	<p>馬場 隆 12月13日(水) 15:00~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 国民健康保険事業について</p>	<p>現在の国保の加入世帯は、非正規労働者や年金生活者、無職の人が8割を占め、他の公的医療保険と比べて低所得化する構造的問題を抱えている。国民健康保険（国保）は制度開始（1961年）以来、運営する保険者は市町村及び特別区であると国民健康保険法第3条第1項に規定されてきた。法改正により来年度から、本市など市町村はさまざまな国保実務を引続き行うが、京都府など都道府県が国保財政の運営をすることとなる。そこで、以下の点について問う。</p> <p>(1) 来年度の国保料1世帯当たりの負担額は。</p> <p>(2) 高すぎる国民健康保険料を引き下げることが求められるのではないか、所見を求める。</p>	<p>市長 所管部長</p>

		<p>2 京都スタジアム（仮称）建設問題について</p>	<p>(3) 保険料を抑えるためには、当面、1世帯当たり年間1万円の減額をして、国や自治体が公費を投入することが不可欠ではないか。 京都府国民健康保険運営方針について</p> <p>(4) 国保の「都道府県化」に伴う本市の対応は。</p> <p>(5) 具体的なスケジュールは。</p> <p>(6) 都道府県化に伴う課題は。</p> <p>本年10月、亀岡市は議会への詳細な報告もなく、地域未来投資促進法に基づく基本計画を発表した。それによると、「亀岡市は、京都府と連携して地域未来投資促進法（正式名称：地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化に関する法律）に基づく基本計画を作成し、主務大臣（経済産業大臣）の同意を受けました。」となっている。</p> <p>(1) 地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化に関する法律に基づく基本計画について</p> <p>① 亀岡市と京都府は基本計画を、どのような意思形成過程で作成したのか。</p> <p>② 同計画発表までに、議会へもう少し詳細に報告すべき事項ではないのか。</p> <p>③ 促進区域を「京都府亀岡市の行政区域」（全域）としたのはなぜか。</p> <p>④ 「…自然環境保全地域、…生息地等保護区、…生息地等保全地区は、本促進区域には存在しない。」と、注釈する理由は何か。</p> <p>⑤ 促進区域の中でも、「亀岡駅北土地区画整理事業」エリア、「京都・亀岡保津川公園」エリア、桂川改修で生じた高水敷などの「保津川かわまちづくり計画」エリアを重点とする理由は。</p> <p>アユモドキ保護増殖事業計画に係って、以下の点について問う。</p> <p>(2) 文部科学省・農林水産省・国土交通省・環境省の4省は、「アユモドキ保護増殖事業計画」（2004年11月19日）を策定したが、事業の目標は何か。</p> <p>(3) 京都スタジアム（仮称）建設に係って、京都府が数次にわたり「地下水保全のための調査・解析状況及び地下水保全対策」を行ってきたのはなぜか。</p>	<p>市長 所管部長</p>
13	<p>石野 善司 12月13日(水) 15:45～</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 NHK大河ドラマ誘致について</p>	<p>平成23年に、府内近隣市町でNHK大河ドラマ誘致推進協議会を立ち上げ、以降、幅広い活動が展開されているところである。</p> <p>現在放映中の「おんな城主直虎」は、いよいよクライマックスに突入していく。その一方、2018年の放映、第57作目となる大河ドラマは、明治維新から150年に当たることから企画された西郷隆盛の生涯を描く「西郷どん」に決定されている。また、次の2019年の大河ドラマ「い</p>	<p>市長 所管部長</p>

		<p>だてん～東京オリンピック～」では、日本マラソンの父と呼ばれる故・金栗四三氏が描かれる。</p> <p>(1) NHK大河ドラマ誘致推進協議会の活動の現況は。</p> <p>(2) 本市での活動の現況は。</p> <p>(3) 誘致の見通しは。</p>		
	2 JR馬堀駅への快速電車停車について	<p>JR馬堀駅が快速電車の停車駅となるよう、市民の大きな声があるところである。停車実現に向けた取組みについて問う。</p> <p>(1) 馬堀駅の乗降客数は。</p> <p>(2) JR西日本への要望活動は。</p> <p>(3) 快速電車の停車が実現する可能性は。</p>	市長 所管部長	
	3 市道北古世西川線について	<p>市道北古世西川線では現在、残る部分の道路築造工事が進められている。本線は追分町の旧保津踏切から篠町の一級河川西川までの約1.5キロメートルの延長で、特に府道王子並河線の柏原区間において、隘路の朝夕の渋滞緩和につながり、事業効果が大きく発揮できる。</p> <p>(1) 現在の進捗状況は。</p> <p>(2) 今後の見通しは。</p>	市長 所管部長	
	4 都市計画道路馬堀停車場篠線について	<p>未整備区間は第1工区の終結点、府道王子並河線から国道9号の篠インターに通じるアクセス道路までの約550メートル間であり、現在進捗中の事業計画箇所である第2工区は、国道9号からマツモトうまほり店手前の420メートルの間である。</p> <p>(1) 現在の進捗状況は。</p> <p>(2) 今後の見通しは。</p>	市長 所管部長	
	5 市道城山医王谷中山線について	<p>市道城山医王谷中山線は市道中矢田篠線と亀岡インターチェンジをつなぐ全体計画延長2キロメートルのバイパス道路である。平成28年2月に全線開通した市道中矢田篠線と府道枚方亀岡線の交差点から出雲大社京都分院付近までの延長1キロメートルが第1期分、そこから亀岡インターチェンジまでの延長1キロメートルが第2期分である。</p> <p>(1) 現在の進捗状況は。</p> <p>(2) 今後の見通しは。</p>	市長 所管部長	
14	<p>竹田 幸生 12月14日(木) 10:00～</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 千代川小学校前通学路及び市道川関小林線の交通安全対策について</p>	<p>通学路として多くの児童が、十分でない路側帯を毎日通学している。これまで一定の対策が行われてきているが、さらなる対策が必要である。</p> <p>(1) これまでどのような対策が行われてきたか。</p> <p>(2) 今後、どのような対策が予定されているのか。</p>	市長 所管部長

		<p>2 認知症高齢者による損害賠償の公的救済策について</p> <p>3 介護保険、総合事業や認定、更新の状況や今後について</p> <p>4 居宅事業所における給付管理について</p>	<p>認知症高齢者のさまざまな事故による損害賠償等が報道されている。自治体等が救済政策を実施する動きがある。</p> <p>(1) どのような政策か。</p> <p>(2) 一定の条件とはどのようなものか。</p> <p>(3) 亀岡市で導入は可能か。</p> <p>(4) 認知症高齢者の把握の一助になると考えるが、それについての所見は。</p> <p>地域包括ケアシステムの強化、次期介護保険7期での地域ケアの深化・推進及び介護保険制度の持続可能性の確保のため、制度の見直しが行われる予定である。介護保険における事務のスムーズ化が求められる。</p> <p>(1) 総合事業への移行状況や利用状況はどうなっているか。</p> <p>(2) 基本チェックリストの導入状況はどうなっているか。</p> <p>(3) 専門的なサービスが必要であるとどのように判断したのか。</p> <p>(4) 基本チェックリスト対象者数について、他市との比較はどうなっているか。</p> <p>(5) 認定期限前通知はどのようなものか。</p> <p>(6) 今後、法人監査が移管される予定はあるのか。</p> <p>介護サービスを利用するにはケアプランが必須であり、介護支援専門員（ケアマネージャー）が作成し調整等を行っている。</p> <p>(1) プラン作成や継続はどのように行われるか。</p> <p>(2) ケアマネジメントが適正かのチェック体制はどうなっているか。</p> <p>(3) 市民の疑問に対してしっかり対応できているか。</p>	<p>所管部長</p> <p>所管部長</p> <p>所管部長</p>
15	<p>奥村 泰幸 12月14日(木) 10:45~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 市有財産（吉川町の土地）の有効活用について</p>	<p>吉川町穴川野水15-1（野水池埋立地）の有効活用について問う。</p> <p>(1) 取得の経緯は。</p> <p>(2) 埋立ての経緯は。</p> <p>(3) 当該土地の形状・面積は。</p> <p>(4) 以前は、亀岡運動公園駐車場（行政財産）として使用していたが、現在は普通財産になっている。その経緯は。</p> <p>(5) 普通財産として処分する計画があるのか。</p> <p>(6) 亀岡運動公園や京都丹波／亀岡夢コスモス園の駐車場として通年利用されているが、使用料の収益はいくらであり、その算出根拠はどうなっているのか。</p> <p>(7) 駐車場として利用した場合、何台の駐車（普通自動車）が可能であるのか。</p> <p>(8) シャトルバスを併用してガレリアかめおかやスタジアムの駐車場として利用してはど</p>	<p>市長 所管部長</p>

		<p>2 市有財産 (下矢田町の土地)の有効活用について</p>	<p>うか。</p> <p>(9) 市営駐車場(有料)として整備した場合、どの程度の収益を見込めるか。</p> <p>下矢田町蛭町24(旧火葬場)の有効活用について問う。</p> <p>(1) 当該土地の形状・面積は。</p> <p>(2) 当該土地は行政財産であるのか普通財産であるのか。</p> <p>(3) どこが所管しているのか。</p> <p>(4) 現状は、倉庫のような建物があるが、その所有者は。</p> <p>(5) 建物所有者との賃貸借契約はどうなっているのか。</p> <p>(6) 当該土地の賃借料は。</p> <p>(7) 当該建物は数年前に火災があり、その後、放置されているが、その経緯は。</p> <p>(8) 建物の撤去整理は。</p> <p>(9) 行政財産として利用することがない場合、普通財産として売却してはどうか。</p>	<p>市長 所管部長</p>
16	<p>福井 英昭 12月14日(木) 11:30~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 亀岡市に関する訴訟について</p> <p>2 亀岡駅南側の開発について</p>	<p>国民は「何人も、裁判所において裁判を受ける権利を奪われない」と憲法第32条に明確に謳われている。また、人々が裁判所に訴えを提起する権利が保証されており、当然ながら訴訟そのものを止めることはできない。亀岡市では、さまざまな行政問題について提訴され、既に解決したものや現在係争中のものなどがあるが、これについて問う。</p> <p>(1) 現在係争中の訴訟はいくつあるか。また、訴訟の事件名は。</p> <p>(2) 一つの訴訟について裁判となった場合、亀岡市が負担する費用はどのようなものか。</p> <p>(3) 亀岡市が勝訴した場合、その費用負担の内訳は。</p> <p>(4) 過去の事例も含め、亀岡市が負担した訴訟費用で最高の金額とその内容は。</p> <p>(5) 過去に亀岡市が裁判で敗訴したような例はあるのか。</p> <p>(6) 裁判が長期間になる場合も考えられる。行政運営に影響はないと思うが、所見は。</p> <p>亀岡駅南側は中心市街地としてその役割を果たしてきたが、現在の駅北側の開発に伴って、南側も一体となったまちづくりが望まれている。</p> <p>(1) 亀岡駅前商店街振興組合(追分町)が目指しているまちづくりの骨子はどのようなものか。</p> <p>(2) 既成市街地ゆえの再開発の難しさがあると考え。行政から何らかの誘導策が必要なのではないか。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>

		<p>3 市街化調整区域の開発許可事務の権限移譲について</p> <p>4 中山池について</p>	<p>平成29年4月1日から亀岡市に権限移譲された開発許可事務であるが、その事務処理の実情について問う。</p> <p>(1) 権限移譲後の変化は。</p> <p>(2) 許可した実績はどのようなものか。また、件数の例年との比較は。</p> <p>(3) 事務執行において弊害や障害等はないか。</p> <p>(4) 許可が遅く、さまざまな引合いがあっても申請期間が長引きうまくいかないという声があるが、府に権限があった時と比べて実際にどうか。</p> <p>(5) 許可の遅れは権限移譲前から心配していたことである。建築士・測量士・設計士等で構成する第三者機関で専門的に検討するようにはどうか。</p> <p>下矢田町から余部町にまたがる中山池は、都市公園である平和台公園内にあり、200～300年前の江戸時代に築造されたため池であるが、これについて問う。</p> <p>(1) 中山池について、この池の管理と都市公園内にあるということについて、どのようなすみ分けがされているのか。</p> <p>(2) 中山池の貯水量と、市内のため池の中での大きさの順位は。</p> <p>(3) 近年、この築堤の下部から漏水しているが、市は把握しているのか。</p> <p>(4) 下部の漏水についての所見は。</p> <p>(5) 危険があるとして、もし決壊などが起きたら、どれだけの被害が予想されるか。</p> <p>(6) 池の水を抜くとしたら、下流河川管理者の京都府等の許可がいるのか。</p> <p>(7) 池の水を抜くことになったら、池の外来魚を徹底的に駆除するチャンスだと思うがどうか。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>
17	<p>小松 康之 12月14日(木) 13:15～</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 10月実施の衆議院議員選挙について</p> <p>2 公園の安全確保について</p>	<p>18、19歳の本市の投票率を問う。</p> <p>(1) 昨年7月の参議院議員選挙と比較し、どう推移したか。</p> <p>(2) 投票率が下がった理由は。</p> <p>(3) 投票率を高める対策は。 投票所である東つつじヶ丘ふれあいセンターにおける駐車場について問う。</p> <p>(4) 雨天時や夜間の安全確保はできているのか。</p> <p>東つつじヶ丘公園において、ボール遊び等のため近隣住宅や車両が危害を被る恐れがある。地域こん談会でも要望している事項について問う。</p> <p>(1) 公園西側に新たに植樹されたが、本来要望しているフェンスのかさ上げは実施されるのか。</p>	<p>選挙管理委員会 委員長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>

		<p>3 防災について</p> <p>西つつじヶ丘においては、井戸はなく、浄水場等の水道施設が地震等の被害を受け水道供給不可になった場合、生活に支障が出ることは必至である。</p> <p>(1) 西つつじヶ丘第一配水池(水道タンク)の今後について問う。</p> <p>①現在の利用状況と今後の見通しは。 ②災害時に給水タンクとして活用できないか。 ③再利用できず取り壊しとなればいつになるか。 ④跡地はどうなるのか。</p> <p>平成27年10月30日に美山台2丁目地内が土砂災害警戒区域に指定された。それに先立ち西つつじヶ丘自治会、市、南丹土木事務所の三者が土石流発生地点の現地調査を行っている。</p> <p>(2) 市の危険度の認識は。 (3) 尾根からの土石流は住宅地に向かって流れると予想されている。水の流れを変えることはできないのか。</p> <p>4 全国学力テストについて</p> <p>平成29年実施の本市の学習状況調査の結果について問う。</p> <p>(1)平成28年に上がった調査項目の課題について、平成29年には解決されたか。 (2) 課題に対して、これまでどのような対策を行ってきたのか。 (3) 今後どのようにして課題解決するのか。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>教育長</p>
18	<p>西口 純生 12月14日(木) 14:00~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 市長の政治姿勢について</p> <p>京都スタジアム(仮称)と京都・亀岡保津川公園を生かしたまちづくりについて問う。</p> <p>(1) 「地域未来投資促進法」に基づく基本計画について、国から同意があったと報告を受けたが、この基本計画を策定した目的は。 (2) この基本計画と制度を利用して、どのように事業展開するのか。 (3) 京都スタジアム(仮称)を生かしたまちづくりについて、亀岡駅周辺をどのように活性化していくのか。</p> <p>世界の著名な政治家から、日本で最も尊敬できる政治家として名を挙げられたのが、米沢藩9代藩主・上杉鷹山である。鷹山の政治理念とその信念を参考に、亀岡市の財政健全化及び精神変革論について問う。</p> <p>(4) 上杉鷹山は、米沢藩の莫大な赤字財政を行財政改革により黒字に転換させた手腕で世界をあっと言わせた。米沢藩とまでは言わないが、亀岡市の厳しい財政状況を見た時に健全化に向け、どのように取組んでいく姿勢なのか。さらなる財政健全化に向けての所見は。 (5) 江戸時代中期において、すでに人口減少歯止め策を講じた上杉鷹山であるが、亀岡市の人口減少歯止め策をどのように推し進めよ</p>	<p>市長</p>

		<p>2 桂川整備促進要望の進捗と成果について</p>	<p>うとしているのか所見は。</p> <p>(6) 上杉鷹山のように大胆な行政改革を実行するには、大胆な発想も必要であり、実際に鷹山はさまざまな改革、精神変革も断行している。次代に引き継ぐ夢のある亀岡のまちづくりにも適用できると思うが、行政を預かる市長のやる気が重要であると受け止めている。所見は。</p> <p>桂川整備促進事業について、進捗状況と今後どのような整備計画で進められるのかについて問う。</p> <p>(1) 嵐山から下流の整備状況については、6号井堰が撤去され、本年度に4号井堰の半分を撤去して、次年度に残りの半分を撤去し、2年間で完全撤去する予定と聞いている。本年施工分の業者は年内に決定し、事務手続きが整えば、来年のできる限り早い時期に工事着手するということである。工期は、来年6月15日までという出水期に配慮した工事であるとの認識でよいか。</p> <p>(2) 4号井堰が完全に撤去されれば、6号井堰とあわせて流下能力が一気に高まると説明された。毎秒何トン流下していたのが、工事により毎秒何トン流下できるようになるのか。</p> <p>(3) 流下能力が高まったということは、嵐山周辺において、次の工程で何をすれば、上流の亀岡の整備ができるようになるのか。また、嵐山周辺整備4項目の整備計画が出されたが、その内容とはどのようなものか。</p> <p>(4) 4項目のうち、渡月橋の上下流に擁壁が完成した際には、亀岡の霞堤はどの程度かさ上げできる見込みであるのか。</p> <p>(5) 6号井堰と4号井堰の撤去は、非常に大きな効果を生み出すものとなった。一刻も早く霞堤が締切れるように、これからは上流の整備促進を要望の方針とするように変えていかなければならない。これについてどう考えているのか。</p> <p>(6) 桂川河川改修において、我々の認識と下流の認識の格差があまりにも大きすぎるように感じている。この期に及んで下流側の景観が大事との発言について、市長の所見は。</p>	<p>所管部長</p>
		<p>3 地域課題について</p>	<p>川東地域の諸課題について問う。</p> <p>(1) 七谷川の天井川の底下げ工事は、本年度分はどのような工事計画により実施されるのか。</p> <p>(2) 市道池尻宇津根線のバイパス工事の橋梁部分が遅れているが、国の補助金交付の見通しはどうか。また、2本目左岸側の橋台の着工の見通しはどうか。</p>	<p>市長 所管部長</p>

			<p>(3) 河原林町河原尻地内の排水溝改修の着手計画と完成時期は。</p> <p>(4) 七谷川の和らぎの道の西への延長について、地元の七谷川を考える会のまちづくりとあわせ、にぎわいと地域振興を考えたまちづくり計画を立てる必要性があることについての考えは。</p> <p>(5) 河原林町北垣内区の宝光寺西の舗装整備の着手が遅れている。本年度には工事が完成すると聞いているが、どうなっているのか。</p> <p>(6) 千歳町小口区の中谷川水路整備の早期着工を願うが、次年度以降の計画はどのようになっているのか。</p> <p>(7) 千歳町出雲区の防火水槽設置補助金の見通しは。また、工事着手はいつになるのか。</p> <p>(8) 千歳町国分区の七福神めぐりの道路整備北進の次年度計画は。</p>	
19	<p>酒井安紀子 12月14日(木) 14:45~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 亀岡まるごとスタジアム構想とまるごとガーデンミュージアム構想について</p>	<p>スタジアムを核としたまちづくりの方向性を打出しながら、さらにガーデンミュージアムの発想によって定住人口および交流人口増加を目指した事業が実施されつつある。</p> <p>(1) まるごとスタジアム構想は完成したのか。</p> <p>(2) まるごとガーデンミュージアム構想は完成したのか。</p> <p>(3) まるごと構想が2つあるが、どのような関係にあるのか。</p> <p>(4) ガーデンミュージアム構想による事業のイニシャルコストの総額は。</p> <p>(5) ガーデンミュージアム構想による事業のランニングコストは。</p> <p>(6) 維持管理体制はどのように構築するのか。</p> <p>(7) 目的に対する手段としてなぜガーデンミュージアムが有効と考えたのか。</p>	市長